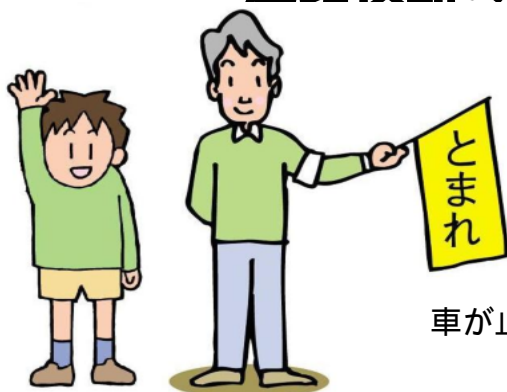


道路横断時の交通事故防止

歩行者の交通事故では、約25件に1人の割合で死亡事故が発生しています。これは、車両相互の事故（約220件に1人死亡）より約9倍危険です。道路を渡る人、車を運転する人、お互いに気をつけましょう。

1

道路横断の意思表示

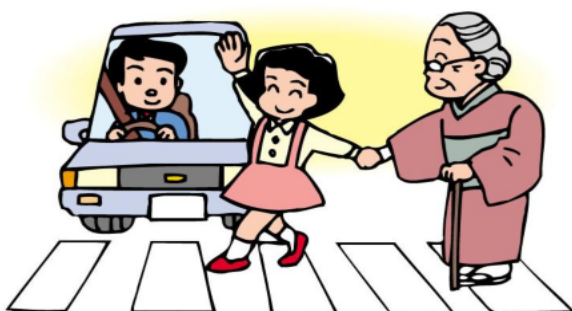


「私は道路を渡ります」との意思を明確に表し、通行車両の運転者に停止をお願い

車が止まったら、左右の安全を確かめて、

2

横断歩道での運転者の義務

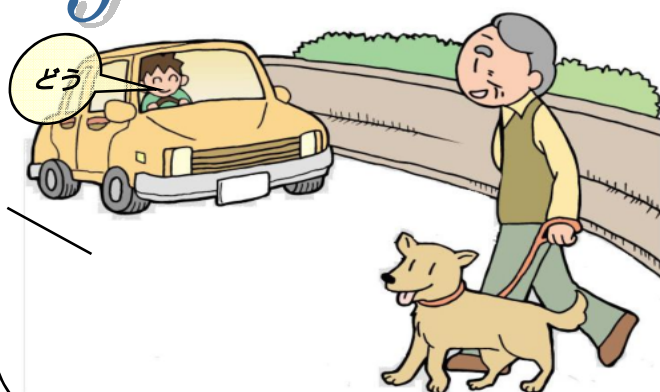


車両の運転者は、横断歩道で横断しようとする歩行者の通行を妨げてはいけません。

横断歩道の直前で一時停止し、歩行者を横断させる違反した場合は交通違反となります。

3

思いやり運転の推進



横断歩道以外の場所では、道路を横断しようとする歩行者に「止まって、渡してあげる」思いやり運転をし

山形警察署